

2023年度 通信教育実施計画

教科	公民	科目	公民教養	単位数： 3 単位
指導目標				
スクーリング	1単位時間×4回	合格時間数：1時間以上	教科書	
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書		
4月	宗教と人間 1	宗教と人間について 仏教についての探究を深め、日本をはじめとする仏教を中心に信仰している国の考え方や文化についての理解を深める。	前期2回	No. 1 No. 2 提出	No. 1 No. 2 提出		
5月	宗教と人間 2	宗教と人間について キリスト教やイスラム教という世界で多くの人々が信仰している宗教についての探究を深め、宗教を通して多様な文化や価値観があることへの理解を深める。					
6月	「国際社会に生きる日本人の自覚」	国際社会に生きる日本人としての在り方生き方について学び、日本人に見られる人間観・自然観・宗教観などの特質について理解を深める。 古来の日本人の考え方や日本の先哲の考え方をとおして、国際社会に主体的に生きる日本人としての在り方生き方について理解を深める。					
7月	国民経済と国際政治 1	貿易と国際収支の現状や為替相場の仕組み、国際協定の必要性や国際経済機関の役割、経済協力の動向について理解させるとともに、経済摩擦問題や国際経済における日本の役割について考察させる。				No. 3 No. 4 提出	No. 3 No. 4 提出
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					
9月	復習	半期の学習内容の復習					
10月	国民経済と国際政治 2	地域統合の過程について学習し、グローバル化が進む世界経済の現状と課題について理解する。	後期2回	No. 5 No. 6 提出	No. 5 No. 6 提出		
11月	国民経済と国際政治 3	国際経済・政治のしくみと動向について、各国の経済状況と政治の動向が密接に関係していることを理解させる。多様化が進んでいる世界経済のかかえる問題点（南北問題、人口・資源・食糧問題、民族問題と紛争など）について把握し、自己の考えをまとめさせる。					
12月・1月	現代の国際政治/単位認定試験	領土問題について 国際社会において主権国家相互の行動を規律し国家間の秩序を作り出す国際法の意義と役割について理解を深める。我が国も含めて様々な国同士の間で未解決問題がある。固有の領土である北方領土や竹島に関し未解決の問題が残されていることや、現状に至る経緯などについて理解を深める。 平和主義国家について 第二次世界大戦において原子爆弾が投下されたことなどを踏まえるとともに、世界の安全保障のあり方について考える。半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。				単位認定試験	
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					

## 2023年度 通信教育実施計画

教科	地理歴史	科目	地歴教養	単位数：3単位
指導目標 18世紀以来の歴史を、まずは「私たち」の身近なところから問いを作って学ばせる。近代化、（国際秩序の変化や）大衆化、グローバル化という大きなテーマを設定して学ぶこと、そして現代的諸課題から考察を加えることで、幅広い視点から捉えられる力を育成する。				
スクーリング	1単位時間×12回	合格時間数：3時間以上	教科書	無し
レポート	全6通	合格通数：6通	副教材	無し
メディア学習	全6通	合格通数：6通	単位認定試験対策プリント	4通
高校通信講座	あり	講座数：全20回	単位認定試験	12月 ※8月、1月、2月
評価	5段階評定、観点別評価の実施			

	単元・指導項目	指導内容	スクーリング	レポート	メディア学習 確認書		
4月	日本の地形や気候を見よう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日本の位置、地形の特徴について学ぶ。</li> <li>・日本の地形特有の自然災害等に理解を示し、確実な知識を身に付ける。</li> </ul>	前期6回	No. 1 No. 2 提出	No. 1 No. 2 提出		
5月	世界のエネルギー・資源を見よう	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間が利用しているエネルギー、資源の分布について学ぶ。</li> <li>・電力の生産方法について、国や地域ごとに条件が異なるということについて学ぶ</li> <li>生活に必要なエネルギー・資源の有限性について学ぶ。</li> <li>・国、個人がエネルギーの安定確保、課題解決のために取り組むべきことについて学ぶ。</li> </ul>					
6月	原始社会の生活と文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人類が日本列島で生活を営みはじめた経緯や、旧石器文化から縄文文化への変化について、自然環境とのかかわりに着目して考察する。</li> <li>・年表や地図、遺構や遺物といった複数の資料を活用し、資料に基づいて歴史が叙述されていることを確認し、身近な地域における歴史資料の関心を高める。</li> <li>・資料に基づき、黎明期の人々の生活や思想、信仰等について、自ら問いを立て、表現する。</li> </ul>					
7月	大和王権と古墳文化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3世紀後半から6世紀ごろまでの倭国では、前方後円墳を中心にたくさんの古墳が造られたこと、4世紀初めには、大和を中心とする大和王権という王権が成立した過程を学ぶ。</li> <li>・支配のしくみについて理解し、当時の文化の担い手はどのようなものだったか、東アジアの世界の動きも視野に入れて考察する。</li> </ul>				No. 3 No. 4 提出	No. 3 No. 4 提出
8月	復習/単位認定試験※対象者のみ	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。					
9月	復習	半期の学習内容の復習					

10月	第一次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ドイツが東方へむけて積極的な対外政策へと転換し、ヨーロッパの列強間の帝国主義的な利害関係が緊張を増して三国同盟と三国協商の間の対立の構図が生じたことを理解する。</li> <li>・第一次世界大戦は、各国の経済力・技術力が全面的に動員される総力戦であったこと、毒ガスなどの新兵器も投入されたことを知る。</li> <li>・戦後の国際秩序を主導したのは、世界最大の経済大国となったアメリカであることを知り、第二次世界大戦につながる流れを理解する。</li> </ul>	後期6回	No. 5 No. 6 提出	No. 5 No. 6 提出
11月	第二次世界大戦	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第一次世界大戦後のパリ講和会議にて新しい平和の構築が指されたこと、この流れを受けて、1920年代には、ヨーロッパにおけるヴェルサイユ体制、東アジアのワシントン体制といった国際秩序が形成されたことを理解する。</li> <li>・世界恐慌の勃発から各国に政治混乱が広がり、ナチスやファシスト当などの非民主勢力が台頭した流れを知り、第二次世界大戦とはどのような戦争だったかを考察する。</li> </ul>			
12月・1月	冷戦とその終結	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第二次世界大戦後、資本主義陣営と社会主義陣営の二つの勢力が、世界規模で緊張状態を生み出したことを理解し、冷戦がどのように生じ、どのような対立が繰り広げられたかを学ぶ。また、冷戦後の世界について考察する。</li> </ul>			
2月	復習	半期の学習内容の復習を行い、不足部分を補う。	単位認定試験		